

おまえざき 市議会だより

2022年
10.11.12月

令和5年2月発行

71号

12月議会定例会…2
本会議質疑………6
委員会質疑………6
一般質問………7
委員会報告………10
議員・視察研修…11



御前崎ブランド認定品

御前崎ブランドとは

御前崎市の豊かな自然、独自の資源および伝統的な加工技術などを活かして魅力ある産品などを認定し、「御前崎ブランド」として発信していきます。御前崎市全体のイメージを高めるとともに産品の普及向上を図り、地域経済の活性化と、御前崎市のさらなる発展を目的としています。

通年



遠州夢咲牛

(令和元年度認定)

管内JAの黒毛和牛ブランドで、上質な脂の甘みと、柔らかくコクと深みのある味が楽しめます。内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞の受賞を誇る最高級銘柄です。

12月～3月



遠州名産ほしいも

(令和3年度認定)

発祥の地である御前崎の干し芋は、遠州地方特有の「からっ風」と強い日差しにより手早く乾燥することで柔らかくなり、芋本来の自然の甘さが味わえます。

御前崎の美味しい食材ホームページ

うまいみさき御前崎

詳しくはHPをご覧ください

うまいみさき



あけまして おめでとーございませう

議長 河原崎 恵士

あけましておめでとうございませう。
市民の皆様方にはご家族おそろいで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃は議会活動へのご協力に感謝いたします。

さて、昨年を振り返ってみますと、12月に行われましたサッカーワールドカップで日本代表が見せた雄姿は今も鮮明に心に残っています。強豪国のドイツ、スペインに逆転勝ちした試合は、日本中を歓喜の渦に巻き込みました。ベスト8をかけたクロアチア戦も見事な戦いぶりであり、最後まで手に汗握るものでした。体格の上で不利と言われるスポーツでも、戦い方と指導者の導く力次第では十分結果を残すことができることの証明のように思えました。良い時を過ごさせてください。サッカー日本代表に感謝申し上げます。

深刻な状況が改善されないのは、ロシアによるウクライナ侵攻という現代では考えられないような事態が起こったことです。専制国家と呼ばれる国が引き起こ

した、卑劣極まりない事態に世界中が震撼しました。この影響は、我が国にも少なからず影を落とされています。人道上の観点からは勿論のこと、エネルギー安全保障の観点から、我々日本国民も他人事では済まされたいこととなっております。サハリンからのエネルギー資源の調達や、ロシアの侵攻に呼応したかのようなか中東からのオイルロードの一部海域の不安など、日本を取り巻く状況は厳しさを増しています。私たちの生活に欠かせない電力供給にも大きな影響が出ています。今冬の電力供給の余力も非常に厳しいとの情報です。無理のない範囲で節電を心掛け、一昔前のように着衣を工夫したりしてエネルギーの無駄遣いをなくす努力をしていきたいものです。

早いところでは梅の便りが聞こえてきます。メジロをはじめ、野鳥が盛んに餌をついばむ様子を眺めることができます。結びに、市民の皆様の安寧をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

12月議会定例会

12月議会定例会を11月29日から12月23日までの25日間の会期で開会しました。

■新議長が決まりました

令和4年11月29日に開催された12月議会定例会において、議長の選挙が行われ、議長に河原崎恵士氏が当選しました。また、常任委員会、議会運営委員会の委員に変更がありました。



議長
河原崎 恵士

好きな言葉
継続は力なり

趣味
音楽鑑賞

議会の活動をあらゆる手法を用いて市民の皆様にはわかりやすくお伝えしたいと思います。また、新しい状況にも対応できるよう議員の研修を行い研鑽を積んでまいります。

常任委員会	
総務経済委員会	
◎植田浩之	○丸尾 忠 阿南澄男 大澤博克 河原崎恵士 渥美昌裕 齋藤佳子 川口純男
文教厚生委員会	
◎櫻井 勝	○二俣秀明 増田雅伸 齋藤 洋 阿形 昭 名波和寛 鈴木克己
議会運営委員会	
◎植田浩之	○阿南澄男 増田雅伸 大澤博克 齋藤 洋 阿形 昭 櫻井 勝
監査委員	
増田雅伸	

◎委員長 ○副委員長 下線は、変更した委員

■ 12月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第54号	御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、一般職及び特別職等の手当支給月数引上げに合わせ、市議会議員の期末手当支給月数を0.1か月分引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第55号	御前崎市特別職の職員で常勤のものゝ給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、一般職の手当支給月数引上げに合わせ、特別職(市長、副市長)の期末手当支給月数を0.1か月分引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第56号	御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、一般職の手当支給月数引上げに合わせ、教育長の期末手当支給月数を0.1か月分引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第57号	御前崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、30歳代半ばまでの若年層に重点を置いて、給料表の水増し引上げ(平均0.3%)及び勤勉手当の支給月数を0.1か月分引上げるための条例改正	全員一致で可決
議案第58号	御前崎市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和5年度から国家公務員の定年が段階的に65歳へ引上げられることを踏まえ、地方公務員法の一部を改正する法律が令和5年4月1日から施行されることから、職員の定年年齢の引上げ等についての関係条例の改正	全員一致で可決
議案第59号	御前崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員一致で可決
議案第60号	御前崎市職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		全員一致で可決
議案第61号	御前崎市特別職の職員で非常勤のものゝ報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	監査委員及び農業委員会における委員報酬について、近隣市との較差や活動内容などの状況に応じ、報酬及びその支給方法について改正を行うための条例改正	全員一致で可決
議案第62号	御前崎市地区センター条例の一部を改正する条例の制定について	御前崎地区センターの高台移転に伴い、御前崎地区センターの位置を変更するとともに、公共施設の適正な維持管理、適正な受益者負担、類似の公共施設との公平性の観点から、市内8つの地区センター施設の使用料を改定するための条例改正	全員一致で可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案 第63号	御前崎市地区センター体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	公共施設の適正な維持管理、適正な受益者負担、類似の公共施設との公平性の観点から、施設の使用料を改定するための条例改正	全員一致で 可決
議案 第64号	御前崎市研修センター条例の制定について	公共施設の適正な維持管理、適正な受益者負担、類似の公共施設との公平性の観点から、無料となっている研修センター会議室の一般利用について使用料を設定し、適正な受益者負担を求めするための条例制定	全員一致で 可決
議案 第65号	御前崎市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	コンビニエンスストアでの各種証明書発行サービスの手数料について、マイナンバーカードの普及を促進し、併せて窓口事務の混雑緩和を図るため、コンビニ交付手数料を減額するための条例改正	全員一致で 可決
議案 第66号	御前崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定について	生活保護法に基づく保護に準じた保護を受けている外国人が、医療の給付を受ける際に、本人の資格確認のため、予め社会保険診療報酬支払基金の中間サーバなどに登録する必要があることから、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づいた、マイナンバー独自利用事務のための条例改正	全員一致で 可決
議案 第67号	御前崎市ふれあい福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	公共施設の適正な維持管理、一般利用者に対しての適正な受益者負担、類似の公共施設との公平性の観点から、会議室の一般利用を有償化するための条例改正	全員一致で 可決
議案 第68号	御前崎市老人福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	公共施設の適正な維持管理、適正な受益、受益者負担、類似の公共施設との公平性の観点から、使用料を改定するための条例改正	全員一致で 可決
議案 第69号	御前崎市民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	御前崎市文化会館を廃止し、御前崎地区センターへ移行することに伴い、御前崎市文化会館を削除する条例改正	全員一致で 可決
議案 第70号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	令和5年3月31日をもって「太田川原野谷川治水水防組合」が解散することに伴い、静岡県市町総合事務組合から脱退すること及び同組合規約の変更を行うもの	全員一致で 可決
議案 第71号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について (御前崎市民会館)	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定	全員一致で 可決
議案 第72号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について (御前崎市浜岡総合運動場)	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定	全員一致で 可決
議案 第73号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について (御前崎市御前崎運動場)	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定	全員一致で 可決

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第74号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市民プール)	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定	全員一致で可決
議案第75号	御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市B & G海洋センター)	指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定	全員一致で可決
議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員候補者に 増田とみ子 氏(白羽地区)を推薦(新任)	全員一致で適任と認める
議案第77号	令和4年度御前崎市一般会計予算の補正(第7号)について	新型コロナワクチン接種事業や物価高騰対策補助などの増額に伴い、歳入歳出それぞれに1億676万円を追加し、それぞれ総額を165億1,291万8千円とする補正	全員一致で可決
議案第78号	令和4年度御前崎市一般会計予算の補正(第8号)について	人事院勧告に伴う給料、手当及び共済組合負担金並びに会計年度任用職員に係る報酬の増額、電気料の増額などに伴い、歳入歳出それぞれに7,381万6千円を追加し、それぞれ総額を165億8,673万4千円とする補正	全員一致で可決
議案第79号	令和4年度御前崎市水道事業会計予算の補正(第1号)について	県関連工事の進捗に合わせ、配水管布設工事費の増加などに伴い、資本的支出に3,280万円を追加し、総額を3億3,757万3千円とする補正	全員一致で可決
議案第80号	令和4年度御前崎市下水道事業会計予算の補正(第2号)について	電気料金高騰に伴い、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした一般会計からの補助金を充てるため、収益的収入に880万9千円を追加し、総額を11億9,232万3千円とする補正	全員一致で可決
議案第81号	令和4年度御前崎市病院事業会計予算の補正(第2号)について	電気料などの高騰に伴い、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした一般会計からの補助金を充てるため、収益的収入に2,194万6千円を追加し、総額を54億8,308万1千円とする補正	全員一致で可決
議案第82号	令和4年度 御前崎市一般会計予算の補正(第9号)について	省エネ家電購入補助事業及び出産子育て応援事業給付金の増額などに伴い、歳入歳出それぞれに1,467万8千円を増額し、それぞれ総額を166億141万2千円とする補正	全員一致で可決
同意第8号	御前崎市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	固定資産評価審査委員会委員の欠員に伴い、松林 清 氏を選任(新任)	全員一致で同意
承認第4号	専決処分の報告及びその承認について(令和4年度御前崎市一般会計予算の補正(専決第2号))	令和4年9月の台風第15号の影響による復旧などの緊急対応に伴う災害復旧費の増額により、歳入歳出それぞれに2,300万円を増額し、それぞれ総額を164億615万8千円とする補正の専決処分の報告及びその承認	全員一致で承認

本 質 疑 議

阿形 昭

【議案第64号について】 P.4参照

問 現在、研修センターは土曜日も日曜日でも利用できません。土曜日と日曜日は利用できなくなるのか

答 土曜日でも日曜日でも利用できません。

問 教育文化の向上は、人々を生き生きさせます。社会教育や文化、まちづくりに関する市民団体に対しては、研修センター使用料を申請に基づいて減免すべきではないのか

答 個別に減免の対象となるのかは判断するのは困難です。

問 事前に研修センターを利用した15団体にアンケートをとりました。3つの団体が有料化に反対したそうですが、反対の理由は何か

答 「非営利団体は活動内容により、使用料を免除してほしい」「市の財政負担でお願いしたい」「設備は更新してほしいが、負担が増えるのはつらい」このようなお意見をいただきました。

齋藤 佳子

【議案第69号について】 P.4参照

問 公共施設マネジメントで文化館を廃止・転用とした経緯は

答 維持費と利用率などの評価が低かったこと、一方で津波浸水想定区域にある御前崎地区センターの高台移転の必要性を考慮した結果、用途変更することが最善であるという結論に至りました。財政面のメリットは、年間で1千万円弱の削減が見込まれます。

問 文化会館がこれまで担ってきた社会教育機能を、今後どのように維持・発展していくのか

答 今まで実施されていた振興センターで実施されていた社会教育関係の講座等は継続していきます。新しい試みとして、小中高生の若者を中心に放課後の居場所づくりの活用を検討したいと考えています。

委 員 会 質 疑

総務経済委員会

令和4年12月13日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第62号について】 P.3参照

問 御前崎地区センターが白羽地区に移転されることになりましたが、今後の中長期的な見通しについては

答 今回の高台移転は、緊急避難的な移転です。現在、計画はありませんが、長期的には新たな地区センターを考えていかなければと思います。

【議案第64号について】 P.4参照

問 窓口に来なくても申請手続きができますか

答 電子申請ができる状態には現在なっておりません。導入できるか検討させていただきます。

文教厚生委員会

令和4年12月13日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第66号について】 P.4参照

問 外国人の生活保護対象者は、何人いますか

答 11月末時点で、外国人の生活保護の受給世帯は7世帯、人数は7人です。



一般質問

6名が登壇 市政を問う

*この一般質問は12月8日と9日に行われたものです。

一般質問

・市内経済対策について



阿南澄男

問 エネルギーや食品などの価格高騰が、今秋以降さらに顕著となり、家計のみならず市内事業者の経営にも大きな打撃となり苦慮しています。このような情勢を踏まえ、市長に2点伺います。

今年度に引き続き来年度予算においても、公共事業をはじめとする経済対策・雇用対策を行うべきと考えますが、市長の考えを伺います。

答 また、新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給は3年間の補給が終わり、来年4月から利子払いが始まります。市も国に合わせ利子補給すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

今年度は、集中豪雨や台風により、市内でも突風や崩土・倒木、道路冠水など非常に多くの箇所で大被害が生じましたが、地元の建設事業者が昼夜を問わず復旧に汗を流してくれたおかげで、早期に市民の生活を守ることができました。公共事業による経済対策は、非常に重要であると

考えております。来年度においても、引き続き、起債や国の交付金事業などを最大限活用し、公共事業をはじめとする経済対策を推進します。

新型コロナウイルス感染症対策貸付による返済が、来年度から始まることは周知の事実でございます。社会不安や景気の悪化を招くことのないよう、国や県の状況を注視しつつ、市として取り組むべき対策を検討します。



一般質問

・財政健全化、将来負担比率について



大澤博克

問 令和3年度の財政健全化判断比率が報告されました。令和3年度以前からの将来負担比率指数の変移傾向を勘案して、令和5年度以降の予算編成にいかん反映させるべきか伺う。

答 令和4年度当初予算では、前年度に追加交付があった普通交付税などの歳入を財政調整基金に積み立てることで有効活用し、予算を編成することができました。

令和5年度は、さらなる市税の減少や物価の高騰などで大変厳しい予算編成となります。

そのため、恒久的な歳出の削減や財源確保については、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

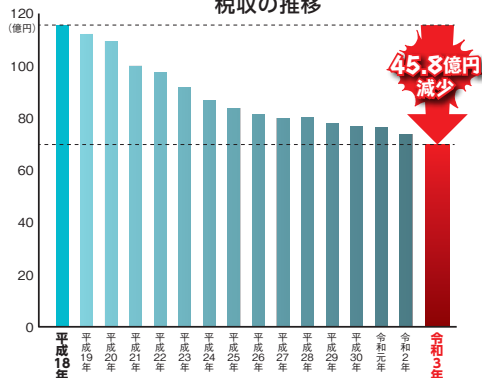
本市における令和3年度の将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回っており、算定されませんでした。

過去5年を振り返っても将来負担比率が算定されたことはございません。近年、市税収入の減少が

ら、市債残高の増加と基金残高の減少が顕著であり、近い将来、将来負担比率が算定され、数字として現れることが予想されます。

しかし、こうした厳しい財政状況の中で、将来世代に過度な負担を強いることなく、持続的な財政運営を実現するためにも、まずは令和5年度予算編成において、将来の財政状況を見据えた予算編成を行ってまいります。

税収の推移



一般質問

・浜岡原発の再稼働について
・DX推進とデジタル田園都市
国家構想について



鈴木克己

問

ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機により、世界的に原子力発電回帰の流れが起きています。原子力発電所立地の市長として、市の経済、財政の多くを依存してきた浜岡原子力発電所の再稼働の現在の所見及び冬場の原子力災害の避難計画対策についての所見を伺う

答

「浜岡原発再稼働の見通し」につきまして、適合性審査中でありお応えできる状況にはないと考えています。「冬場の避難計画について」は、原子力災害広域避難計画における冬季、積雪時の避難につきましては、議員ご指摘の通り課題であると認識しており、国や県とも連携し協議を進めております。現時点で確定はしておりませんが、考えられる避難方法の確保を図ってまいります。

問

御前崎市は各地区で「ふれあいトーク」を開催し、DXの説明を行いました。御前崎市民のDXリテラシー、デジタル変

一般質問

・原子力防災について
・一般競争入札について



阿形 昭

問

熱海の土石流災害では、ホテルを借り上げて避難所にしました。原子力防災でもホテルを借り上げたり、宿泊した場合の宿泊費の補填を考えるべきではないか

答

避難先のホテル、旅館への避難所としての利用や費用負担なども含め、避難計画に組み入れるよう静岡県と協議を始めたところです。

問

雪が降る12月から3月までは自家用車での長野県への避難は現実的ではありません。市長の考えは

答

雪が降る時には避難が厳しいです。そのことを国や県にしつかりと対策をたてていただきたいと要望していますので、その回答を待ちたいと思います。

問

福島の原子力事故の時に、10キロ圏内の住民は屋内避難、3キロ圏内の住民は避難、10キロ圏内の住民は屋内退避の指示が出ました。実際は放射性

問

物質は同心円状に広がりません。汚染エリアは複数の突起を形成します。SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測システム）を活用した実践的な防災訓練が必要ですが、原子力防災訓練の実施について伺う

答

原子力規制委員会では、拡散シミュレーション予測の計算結果に基づいた防護措置の判断は、かえって住民の避難行動を混乱させ、被爆の危険性を高めかねないことから、行わないこととしています。このため、県も機器の運用を停止しており、現時点ではSPEEDIを活用した訓練を行うことはできません。

問

御前崎市の一般競争入札は予定価格に近い価格での落札が多く、高い落札率です。令和2年度の平均落札率は95・8%でした。令和3年度の平均落札率は令和3年度の制限付き一般競争入札の平均落札率は、96・2%です。

DXとは…
デジタル技術が社会に浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。
デジタル田園都市国家構想とは…
デジタルの力で、地方の個性を生かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図り、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指した国家構想。

一般質問

・受援力の更なる強化について
 ・今後のシティプロモーションの推進について
 ・第3次御前崎市総合計画策定について



齋藤佳子

問

受援力の更なる強化については

が中心となり取り組んでいます。令和4年9月に開催した「ワールド・サーフ・リーグ（WSL）」

答

外部から多様な支援を受けることを想定した体制づく

では、国内外に御前崎でのサーフインの魅力を発信することができました。海洋スポーツのできる「海」を最大限に活かしたシティ

りとしては、国や県をはじめ、自衛隊、警察、消防、災害時応援協定に基づく各種団体との協議や連携した訓練を積極的に実施しています。地域での受援力強化では、社会福祉協議会において災害ボランティアコーディネーターの養成に努めており、述べ45名が登録されています。

問

第3次御前崎市総合計画策定については

答

総合計画は、本市の最上位計画として位置づけ、市における総合的かつ長期的な行政運営を図るための計画です。総合計画の策定にあたりましては、より多くの市民が参画し、あらゆる世代から広く意見を募るべきものであると考えます。令和5年度は、第3次御前崎市総合計画策定の準備年度とし、市民が市政の現状を学ぶとともに、御前崎の将来について広く意見交換できる方法を検討していきます。

問

今後のシティプロモーションの推進については

答

シビックプライドの醸成については、「御前崎市市民協働の指針」の策定を進めており、今後、協働の考え方や手法を広め、市民がさまざまな場面で、多くの協働の取り組みを積み重ねていくことが、シビックプライドの醸成につながると考えています。シティセールス活動については、体験型ツアーを観光プロデューサー

総合計画は、本市の最上位計画として位置づけ、市における総合的かつ長期的な行政運営を図るための計画です。総合計画の策定にあたりましては、より多くの市民が参画し、あらゆる世代から広く意見を募るべきものであると考えます。令和5年度は、第3次御前崎市総合計画策定の準備年度とし、市民が市政の現状を学ぶとともに、御前崎の将来について広く意見交換できる方法を検討していきます。

一般質問

・脱炭素社会のため御前崎市でやれることについて



二俣秀明

問

令和4年度の施政方針で「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて新エネルギー機器の導入に対する助成

答

を活用できる枠組みを創設し、地球温暖化防止を推進する」とあります。農林水産分野で市内の取組み事例などカーボンニュートラルの実現に向けた市長の考えを伺う

みは、茶園へのバイオ炭の投入やバイオマス発電燃料用の早生桐栽培の実証試験、ドローンによる農薬散布、茶園への施肥量軽減などです。水産分野では、NPO法人、榛南地域磯焼け対策推進協議会によるブルーカーボン事業、マダイやヒラメの栽培や放流などが行われ、現在、国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、県でも計画策定を進めています。

問

早生桐は5年〜8年で成木化するため、ルールが必要では

答

早生桐は、バイオマス燃料や家具の建材加工の活用を目的に実証栽培を行っています。国は肥培管理できるなら農地利用が可能とし、農業委員会では解除付き利用権として承認し、事業者には毎年生育と栽培状況を義務報告してもらいます。実証栽培のためルール作りは難しいですが、農業委員会への明確な説明が必要だと考えます。

問

バイオマス発電所レノバが稼働されますが、海外からの燃料と聞いています。市内には

耕作放棄された茶園があり、お茶の木を利用できないか

燃料となる木質ペレットは海外からの輸入ですが、事業者は県内の間伐材を木質チップとして使用することも想定しています。お茶の木が木質チップとして燃料になるかわかりませんが、条件が合えば産廃ではなく、有価物として受け入れることも可能と聞いています。

問

バイオマス発電所レノバが稼働されますが、海外からの燃料と聞いています。市内には

耕作放棄された茶園があり、お茶の木を利用できないか

委員報告

予算決算審査 特別委員会

令和4年12月14日に委員会を開催し、付託された一般会計、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計の補正予算4議案について、関係部課長から細部にわたる内容の説明を求め、慎重に審査した結果、本委員会としては、全議案を原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

原子力対策 特別委員会

令和4年12月15日に委員会を開催し、資源エネルギー庁原子力立地政策室の前田博貴室長による「GX実行会議を踏まえた今後の原子力政策の方向性について」と題しての報告および中部電力(株)から浜岡原子力発電所の近況報告を受けました。

〔GX実行会議における検討内容について〕

- ・エネルギーの安定供給の再構築
- ・脱炭素に向けた経済・社会・産業構造変革
- ・最近の電力需要を巡る環境変化以上を踏まえた原子力政策の今後の進め方
- ① 既存原発の最大利用
- ② 次世代革新炉の開発・建設
- ③ バックエンド問題に関する取り組み

以上について報告を受けました。

〔浜岡原子力発電所の状況について〕

1. 浜岡原子力発電所の状況
2. 発電所の長期停止により生じている技術力の維持・継承の課題、その課題に対する取り組み

以上について報告を受けました。

GXとは…

「グリーン・トランスフォーメーション」の略で、次世代エネルギーへの転換によって持続可能な社会を実現させる取り組みのこと。

総合開発計画策定 特別委員会

令和4年12月15日に特別委員会を開催し、令和5年度～令和7年度の財政見込、第2次総合計画の令和5年度～令和7年度の実施計画案及び同総合計画における危機管理部のコロナ禍及び年度途中の事業評価の説明を受けました。内容は次の通りです。

・財政見込について

歳入の市税については、新型コロナウイルス感染症からの脱却によるプラス要因があるものの、納税義務者の減少や、円安などの影響を考慮し、市民税は横ばい、固定資産税は、大規模施設の建築と稼働が見込まれる令和6年度をピークに減少する見込みとしました。歳出については、地方債残高が増加することに伴い、返済金である公債費も増加、令和10年度の公債費は、10億円を超える見込みとなっています。物件費は、電気料金などの高騰があるものの、施設の統廃合など、公共施設マネジメントの推進による維持管理経費の削減を図り減少、補助費等も他会計などへの補助金を削減するこ

とで、減少を見込みました。投資的経費は、コロナ禍で落ち込んだ市内経済をいち早く回復させるため、建設事業を含め、市内経済の活性化に投資する形で見込んでいます。

・実施計画案について

この実施計画は、第2次総合計画に掲げた目標を達成するための具体的な事業と、それに係る3カ年分の事業費を年度ごとに取りまとめたものです。なお、本計画は、社会情勢の変化や市の財政状況を考慮して、毎年予算編成と並行する形で見直しを行っています。

・コロナ禍及び年度途中の事業評価について

新型コロナウイルス感染症が本計画の各事業にどのような影響を与えているか確認しました。第2回目となる今回は、危機管理部危機管理課から説明を受けました。



議員研修

第13回全国原子力発電所立地議会サミット

研修日 令和4年10月27日(木)
 28日(金)

会場 品川プリンスホテル
 (東京都港区)

【メインテーマ】

「2050年カーボンニュートラルと原子力」立地地域が目指すこれからの方向性」

【分科会】

- ・第1分科会「脱炭素社会における立地地域の在り方」
- ・第2分科会「脱炭素社会における原子力の在り方」
- ・第3分科会「原子力防災体制と避難計画」
- ・第4分科会「核燃料サイクルと使用済核燃料の中間貯蔵・最終処分」
- ・第5分科会「原子力安全対策と原子力規制」



第13回全国原子力発電所立地議会サミット開会式

原子力発電等の課題について議論し、また、各立地地域における固有の問題等について情報交換を行うことにより、住民の安全・安心の確保と地域の振興に資することを目的に、全国の原子力発電所立地自治体の議員など400名を超える参加者があり、今回は、御前崎市議会議長が実行委員長となつて開催されました。サミットでは、一般財団法人日本エネルギー経済研究所 村上朋子氏から「カーボンニュートラルと原子力政策」について基調講演がありました。その後、5つの分科会に分かれ議論し、翌日の全体会で、各分科会からの報告があり、国からコメントが披露されました。閉会式でサミット宣言が採択されました。

視察研修

総務経済・文教厚生委員会合同視察研修

視察日 令和4年11月8日(火)
 9日(水)

視察先及び内容

○行政サービスのデジタル化・おこやみコーナーについて(滋賀県長浜市)

お亡くなりになられた方の手続きは、御遺族にとって不安で負担がかかりますが、長浜市では市役所各課にわたる手続きを「おこやみコーナー」だけで行えるよう、市民サービスの向上を図っています。また、手続項目を一冊にまとめた「おこやみガイドブック」は、全国で初めて有料広告を入れたことで、ゼロ予算により作成されています。

○AIを活用した相談支援・リアルタイム危機管理情報サービスについて(愛知県豊田市)

豊田市では、SNS上の投稿などから災害に関連する情報を瞬時に抽出し、パソコンの画面上に表示または音声告知によって情報を通知するシステム「スペースティ」の説明を受けました。災害時に正確な情報収集が困難な初期において、災害情報の迅速な把握ができ、信憑性の判断をAIが行うことで、早期に災害対応に当たる体制が構築されていました。



豊田市



長浜市

2月議会定例会の予定

2月議会定例会は、2月20日(月)から3月24日(金)までの33日間の会期で開催される予定です。

日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

- 2月 20日(月) 本会議(議案説明)
- 3月 2日(木) 本会議(質疑・一般質問)
- 3日(金) 本会議(一般質問)
- 6日(月) 総務経済委員会
文教厚生委員会
- 8日(水) 予算決算審査特別委員会
- 9日(木) 予算決算審査特別委員会
- 10日(金) 予算決算審査特別委員会
- 13日(月) 特別委員会
- 24日(金) 本会議(質疑・討論・採決)

議会を傍聴しませんか？

- 新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクの着用をお願いします。せきや37.5℃以上の発熱など体調のすぐれない場合は、傍聴をお控えください。
- 市議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴席には限りがありますので、超過した場合は別室でのテレビ傍聴となります。
- 耳の聞こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器があります。(3名分)
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議・予算決算審査特別委員会の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル122チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。電話・FAX・郵送・Eメールで受付します。

- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。



御前崎市マスコットキャラクター
ふうちゃん

問い合わせ先

御前崎市議会 議会広報特別委員会(議会事務局)

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL(NTT・CATV) : 0537-85-1115 / FAX : 0537-85-1139
E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



御前崎市マスコットキャラクター
なみまる

議会のいきり

- ### 10月
- 7日 牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
 - 12日 全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会(オンライン会議)
 - 17日 中東遠看護専門学校組合議会定例会
 - 18日 議会広報特別委員会
 - 21日 議会全員協議会
 - 24日 予算決算審査特別委員会
 - 27日 議会広報特別委員会
 - 28日 全国原子力発電所立地議会サミット(28日)

- ### 11月
- 7日 中東遠地区市議会議長協議会
 - 8日 総務経済・文教厚生委員会合同視察研修(9日)
 - 11日 地方議会活性化シンポジウム2022
 - 18日 議会全員協議会
 - 19日 長野県高森町訪問(19日)
 - 21日 大井川広域水道企業団運営協議会
 - 22日 議会運営委員会
 - 24日 第3回DX研修会
 - 29日 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議

- ### 12月
- 8日 12月議会定例会本会議(質疑・一般質問)
 - 9日 12月議会定例会本会議(一般質問)
 - 13日 総務経済委員会
 - 14日 文教厚生委員会
 - 15日 文教厚生委員会(浜岡中学校生徒との対話について)
 - 19日 予算決算審査特別委員会
 - 21日 総合開発計画策定特別委員会
 - 21日 原子力対策特別委員会
 - 23日 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会
 - 23日 議会運営委員会
 - 23日 12月議会定例会本会議(最終日)
 - 23日 議会全員協議会

編集
議会広報特別委員会

委員長 渥美昌裕 委員 名波和寛 丸尾 忠 鈴木克己
副委員長 齋藤佳子 二俣秀明 川口純男